



企画展示室

瀬戸電開通 120 周年記念特別企画展

「せとでん やきものの街・瀬戸と歩んだ 120 年」



赤い電車からステンレスカーへ 平成 26 年 (2014) 4 月 6 日 撮影/山田 司

「せとでん」として親しまれている名鉄瀬戸線は、明治 38 (1905) 年に瀬戸自動鉄道の瀬戸～矢田間が開通したのが始まりです。瀬戸と名古屋を結ぶ旅客輸送の手段であっただけでなく、瀬戸のやきものを運ぶという役割もありました。そのため、設立時の主要株主には、瀬戸の代表的な窯業家が名を連ねていました。

本展ではせとでん開通 120 年となるのを記念して、市民公園に展示されていた車両の部品に加え、様々な資料や写真を通して、その歩みを振り返ります。

8月24日(日)まで

中央通りギャラリー 「愛知県陶磁器技能士会展」



陶磁器技能士認定を受けた会員による作品展。

トップレベルの技から生み出される多彩な作品をご覧ください。

5月17日(土)から8月17日(日)まで

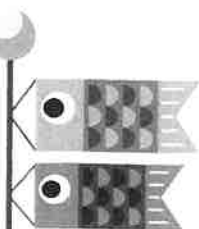


開館時間：9：00～17：00 (入館は 16：30 まで)

入館料：一般：520 円、65 歳以上・高校生・大学生：310 円

中学生以下・妊婦・障害者手帳 (ミライロ ID 可) をお持ちの方：無料

年間パスポート：一般 1,570 円、65 歳以上・高大生 940 円



5月26日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190